

役員報酬規程

1. 目的

この規定は、特定非営利活動法人開発教育協会（以下、本会という）の定款第 20 条第 1 項・第 2 項に基づいて、本会の役員報酬に関する事項を定めたものである。

2. 報酬

役員の数全体の 3 分の 1 以下の範囲内で報酬を支払うことができる。

- （1）報酬の額は月額とし、理事会の議決を経て、代表理事がこれを定める。
- （2）役員に就任した月から、報酬を支払うことができる。

3. 弁償

役員には、その業務を執行するために要した費用を弁償することができる。

4. 報酬の支払い日

役員の前払の支払日は、就業規則に準ずることとする。

5. 報酬の支払い

法令または規程に基づき、役員の前払の報酬から控除すべきものがある場合には、その役員に支払うべき報酬の金額から、その金額を控除して支払うものとする。

附則

本規程は、2003 年 6 月 14 日から施行する。

2003 年 6 月 14 日承認

特定非営利活動法人開発教育協会（DEAR）

給 与 規 程

（目的）

- 第1条 本規程は、特定非営利活動法人開発教育協会（以下、協会という）就業規則（以下、本則という）の規定に基づき、職員の給与に関して必要な事項を定める。
2. 本規程は、本則で定める正職員に適用する。
 3. 本則で定める嘱託職員の給与に関する規定は、別途「嘱託職員給与規程」に定める。

（給与の種類）

- 第2条 職員の給与は、基本給および諸手当とする。
2. 手当の種類は、次の通りとする。
 - ① 通勤手当
 - ② 期末手当
 - ③ 職務手当
 - ④ 割増手当

（基本給）

- 第3条 基本給は、所定労働時間における勤務に対する報酬として支給する。したがって、職員が勤務しないときは、別段の定めによる場合の他は給与を支払わない。
2. 基本給は、原則として年齢給とする。ただし、初任給については、本人の技能、経験、職歴等を年齢に加算して支給額を決定する場合がある。

（通勤手当）

- 第4条 通勤手当は、通勤に要する実費のうち、月額3万円を限度に支給する。
2. 通勤定期の月額、運賃や料金、時間や距離などの事情に照らして、最も合理的かつ経済的と認められる経路および方法で算出する。
 3. 通勤距離が直線距離で1キロメートル以内の場合は、通勤手当を支給しない。

（期末手当）

- 第5条 期末手当は、協会の当該年度の業績や財政状況に応じて支給する場合がある。
2. 期末手当を支給する場合は、原則として毎年度末の3月の給与支給日に支給する。
 3. 支給に際しては、支給日当日に協会に在籍し、かつ通常勤務していることを条件とする。
 4. 期末手当は、当該年度における職員の勤務状況や業務実績を考慮して支給額を決定する。ただし、協会の財政状況その他のやむを得ない事情によって、支給額を縮小することがある。
 5. 支給額には勤続年数に応じて、次のような上限を設ける。

| 勤続年数 | 支給額の上限 |
|----------|--------------|
| 1年以上5年未満 | 月額基本給の1.0か月分 |

| | |
|------------|--------------|
| 5年以上 10年未満 | 月額基本給の1.5か月分 |
| 10年以上 | 月額基本給の2.0か月分 |

(職務手当)

第6条 職務手当は、次の区分かつそれぞれの就任期間に応じて支給する。

- ① 事務局長 月額50,000円
 - ② 事務局次長 月額30,000円
 - ③ 主任 月額15,000円
2. 前項の他に、特別な事業や業務を管理運営する担当責任者には、月額15,000円を上限とする職務手当を支給する場合がある。

(割増手当)

第7条 割増手当の種類は、次のとおりとする。

- ① 時間外勤務手当
 - ② 休日勤務手当
 - ③ 深夜勤務手当
2. 時間外手当は、法定勤務時間である週40時間を超えた場合には法定時間外勤務手当を支給する。ただし、所定勤務時間である週40時間を超えた場合には、所定時間外勤務手当として通常賃金分を支給する。
3. 休日勤務手当は、所定休日に勤務した場合に支給する。
4. 深夜勤務手当は、深夜に勤務した場合に支給する。
5. 前項までの割増手当は、次に掲げる算式によって計算して支給する。ただし、事務局長の許可なく所定勤務時間を超え、もしくは所定休日または深夜に勤務した部分については無給とする。
- ① 時間外勤務手当 $1\text{時間あたりの賃金額} \times 1.25 \times \text{法定時間外勤務時間数}$
 - ② 休日勤務手当 $1\text{時間あたりの賃金額} \times 1.35 \times \text{休日勤務時間数}$
 - ③ 深夜勤務手当 $1\text{時間あたりの賃金額} \times 0.25 \times \text{深夜勤務時間数 (上乘せ)}$

(給与計算・支払日)

- 第8条 給与は、毎月末日に締め切り、翌月10日に支払う。ただし、支払日が所定休日にあたる時は、その前日に支払う。
2. 欠勤、遅刻、早退および私用外出の時間については、事前または事後に事務局長に申し出て、やむを得ないと認められた場合を除き、基本給の1時間あたりの賃金額にこれらの合計時間数を乗じた額を差し引くものとする。ただし、合計時間数のうち30分未満の端数は切り捨てるものとする。
 3. 本則に定める年次休暇およびその他の休暇の取得時の給与は、所定勤務時間を勤務した場合に支払われる通常の賃金を支給する。
 4. 本則に定める休業により勤務しなかった日および時間については、給与を支給しない。
 5. 給与計算期間の途中で採用され、または退職した場合には、基本給は日割りにより計算し、前項に定める支払日に支払う。

6. 前項の者の通勤手当および職務手当について、実績に応じて支給する。期末手当については、在籍期間およびその間の勤務状況などに応じて支給することができる。

(支払い方法)

第9条 給与は、通貨で、職員に対して直接その全額を支払う。ただし、次に掲げるものは、給与から控除する。

- ① 源泉所得税
- ② 住民税(都道府県民税および区市町村民税)
- ③ 雇用保険保険料の被保険者負担分
- ④ 社会保険(健康保険・介護保険および厚生年金保険)保険料の被保険者負担分
- ⑤ 職員の過半数を代表する者との協定により控除対象としたもの

2. 給与は、職員の承諾を得て、口座振込により支払うことができる。

(給与の改定)

第10条 給与のうち基本給は、原則として毎年4月に同月1日時点の満年齢を基準として、別表の基本給表を参照して改定する。

2. その改定額については、職員の勤務状況および業務実績を考慮して、各人ごとに決定する場合があるほか、協会の財政状況その他やむを得ない事情により、昇給を見送る場合がある。
3. 前項のほか、特別の必要のあるときは、臨時に給与の改定を行うことがある。

(その他)

第11条 本規程で処理できない場合には、その都度協議にて処理する。

附 則

1. 本規程の各条項の改廃は、職員の過半数を代表する者の意見を聴取した上で行う。
2. この規程に定めないものに関しては、当該職員またはそれに代わる者の申請を常任役員会で検討して、代表理事が判断するものとする。

施行：2010年 6月 1日

改定：2012年 4月 1日

改定：2017年 4月 1日

＜別表＞正職員基本給表（月払）

| 年齢 | 金額 | 年齢 | 金額 |
|------|---------|------|---------|
| 20 歳 | 161,000 | 40 歳 | 235,000 |
| 21 歳 | 163,000 | 41 歳 | 240,000 |
| 22 歳 | 165,000 | 42 歳 | 245,000 |
| 23 歳 | 167,000 | 43 歳 | 250,000 |
| 24 歳 | 169,000 | 44 歳 | 255,000 |
| 25 歳 | 171,000 | 45 歳 | 260,000 |
| 26 歳 | 173,000 | 46 歳 | 265,000 |
| 27 歳 | 175,000 | 47 歳 | 270,000 |
| 28 歳 | 178,000 | 48 歳 | 273,000 |
| 29 歳 | 180,000 | 49 歳 | 276,000 |
| 30 歳 | 185,000 | 50 歳 | 280,000 |
| 31 歳 | 190,000 | 51 歳 | 280,000 |
| 32 歳 | 195,000 | 52 歳 | 280,000 |
| 33 歳 | 200,000 | 53 歳 | 280,000 |
| 34 歳 | 205,000 | 54 歳 | 280,000 |
| 35 歳 | 210,000 | 55 歳 | 280,000 |
| 36 歳 | 215,000 | 56 歳 | 280,000 |
| 37 歳 | 220,000 | 57 歳 | 280,000 |
| 38 歳 | 225,000 | 58 歳 | 280,000 |
| 39 歳 | 230,000 | 59 歳 | 280,000 |
| | | 60 歳 | 280,000 |

特定非営利活動法人 開発教育協会 (DEAR)

嘱託職員給与規程

(目的)

第1条 本規程は、特定非営利活動法人開発教育協会(以下、協会という)嘱託職員就業規則(以下、別則という)の規定に基づき、嘱託職員(以下、職員という)の給与に関して必要な事項を定めるものである。

2. 本規定は、別則に定める嘱託職員に適用する。

(給与の種類)

第2条 職員の給与は、基本給与と手当とする。

2. 手当の種類は、次の通りとする。

- ① 通勤手当
- ② 期末手当
- ③ 職務手当
- ④ 割増手当

(基本給)

第3条 基本給は、職能給を基本とし、本人の技能、経験、職歴等を総合的に勘案する他、当該職員の1週間または1年間あたりの勤務日数に応じて、別表の基本給表を参照して決定する。

2. 職員の職能の基準は、概ね次のとおりとする。

- 1級：担当する事業や業務に関する補佐的または定型的な事務処理能力
- 2級：担当する事業や業務に関する基本的な実務遂行能力
- 3級：担当する事業や業務に関する応用的な実務遂行能力
- 4級：協会の組織や事業全般に関する基本的な管理運営能力
- 5級：協会の組織や事業全般に関する応用的な管理運営能力
- 6級：協会の組織や事業全般に関する専門的な管理運営能力

(通勤手当)

第4条 通勤手当は、通勤に要する実費のうち、月額3万円を限度に支給する。

3. 通勤定期の月額、運賃や料金、時間や距離などの事情に照らして、最も合理的かつ経済的と認められる経路および方法で算出する。
4. 通勤距離が直線距離で1キロメートル以内の場合は、通勤手当を支給しない。

(期末手当)

第5条 期末手当は、協会の当該年度の業績や財政状況に応じて支給する場合がある。

2. 期末手当を支給する場合は、1年以上継続して雇用され、またはそれが見込まれる職員に対して、原則として、毎年度末の3月の給与支給日に支給する。

3. 支給に際しては、支給日当日に協会に在籍し、かつ通常に勤務していることを条件とする。
4. 支給額には勤続年数ならびに1週間または1年間あたりの勤務日数に応じて、次のような上限を設ける。

| | | | | | | |
|----------|----------------------|---------------|---------------|--------------|-------------|-----|
| 1週間の勤務日数 | 5日 | 4日 | 3日 | 2日 | 1日 | |
| 1年間の勤務日数 | 217日以上 | 169日～ 216日 | 121日～ 168日 | 73日～ 120日 | 48日～ 72日 | |
| | 支給額の上限(月額基本給に対する掛け率) | | | | | |
| 勤続年数 | 1年以上 5年未満 | 1.0 | 0.8 | 0.6 | 0.4 | 0.2 |
| | 5年以上 | 1.5 | 1.2 | 0.9 | 0.6 | 0.3 |

5. また、当該年度における職員の勤務状況や業務実績を考慮して支給額を決定する。

(職務手当)

第6条 職務手当は、次の区分かつそれぞれの就任期間に応じて支給する。

- ① 事務局長 月額50,000円
 - ② 事務局次長 月額30,000円
 - ③ 主任 月額15,000円
2. 前項の他に、特別な事業や業務を管理運営する担当責任者には、月額15,000円を上限とする職務手当を支給する場合がある。

(割増手当)

第7条 割増手当の種類は、次のとおりとする。

- ① 時間外勤務手当
 - ② 休日勤務手当
 - ③ 深夜勤務手当
2. 時間外手当は、法定勤務時間である週40時間を超えた場合には法定時間外勤務手当を支給する。ただし、雇用契約に定める所定勤務時間を超えた場合には、所定時間外勤務手当として通常賃金分を支給する。
 3. 休日勤務手当は、所定休日に勤務した場合に支給する。
 4. 深夜勤務手当は、深夜に勤務した場合に支給する。
 5. 前項までの割増手当は、次に掲げる算式によって計算して支給する。ただし、事務局長の許可なく所定勤務時間を超え、もしくは所定休日または深夜に勤務した部分については無給とする。
 - ① 時間外勤務手当 1時間あたりの賃金額×1.25×法定時間外勤務時間数
 - ② 休日勤務手当 1時間あたりの賃金額×1.35×休日勤務時間数
 - ③ 深夜勤務手当 1時間あたりの賃金額×1.25×深夜勤務時間数

(給与計算・支払日)

第8条 給与は、毎月末日に締め切り、翌月5日に支払う。ただし、支払日が所定休日にあたるときは、その前日に支払う。

2. 欠勤、遅刻、早退および私用外出の時間については、事前または事後に事務局長に申し出て、やむを得ないと認められた場合を除き、基本給の1時間あたりの賃金額にこれらの合計時間数を乗じた額を差し引くものとする。ただし、合計時間数のうち30分未満の端数は切り捨てるものとする。
3. 年次休暇およびその他の休暇の取得時の給与は、所定勤務時間を勤務した場合に支払われる通常の賃金を支給する。
4. 休業により勤務しなかった日および時間については、給与を支給しない。
5. 給与計算期間の途中で採用され、または退職した場合には、基本給は日割りにより計算し、前項に定める支払日に支払う。
6. 前項の者の通勤手当については、実績に応じて支給する。

(支払い方法)

第9条 給与は、通貨で、職員に対して直接その全額を支払う。ただし、次に掲げるものは、給与から控除する。

- ① 源泉所得税
 - ② 住民税(都道府県民税および区市町村民税)
 - ③ 雇用保険および労災保険保険料の被保険者負担分
 - ④ 社会保険(健康保険、雇用保険および厚生年金保険)保険料の被保険者負担分
 - ⑤ 職員の過半数を代表する者との協定により控除対象としたもの
2. 給与の支払いは、月給制とする。ただし、臨時に雇用する職員に関しては、時給制とする場合がある。
 3. 給与は、職員承諾を得て、口座振込の方法により支払うことができる。

(給与の改定)

第10条 給与のうち基本給は、原則として改定を行わない。ただし、職能、勤怠評価、勤続年数などを基準として、別表の基本給表を参照して改定する場合がある。

2. 前項のほか、特別の必要のあるときは、臨時に給与の改定を行うことがある。

(その他)

第11条 本規程で処理できない場合には、その都度協議にて処理する。

附 則

- 1 本規定の各条項の改廃は、職員の過半数を代表する者の意見を聴取した上で行う。
- 2 この規程に定めのないものに関しては、当該職員またはそれに代わる者の申請を常任役員会で検討して、代表理事が判断するものとする。

施行:2010年6月1日

改定:2012年4月1日

改定:2017年4月1日

＜別表＞嘱託職員基本給表(月払)

| 区 分 | | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 |
|-----|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 0号 | 週5日 | 146,000 | | | | | |
| | 週4日 | 116,800 | | | | | |
| | 週3日 | 87,600 | | | | | |
| | 週2日 | 58,400 | | | | | |
| | 週1日 | 29,200 | | | | | |
| 1号 | 週5日 | 148,000 | 160,000 | 185,000 | 205,000 | 230,000 | 240,000 |
| | 週4日 | 118,400 | 128,000 | 148,000 | 164,000 | 184,000 | 192,000 |
| | 週3日 | 88,800 | 96,000 | 111,000 | 123,000 | 138,000 | 144,000 |
| | 週2日 | 59,200 | 64,000 | 74,000 | 82,000 | 92,000 | 96,000 |
| | 週1日 | 29,600 | 32,000 | 37,000 | 41,000 | 46,000 | 48,000 |
| 2号 | 週5日 | 150,000 | 165,000 | 190,000 | 210,000 | 232,000 | 242,000 |
| | 週4日 | 120,000 | 132,000 | 152,000 | 164,000 | 185,600 | 193,600 |
| | 週3日 | 90,000 | 99,000 | 116,000 | 128,000 | 139,200 | 145,200 |
| | 週2日 | 60,000 | 66,000 | 76,000 | 84,000 | 92,800 | 96,800 |
| | 週1日 | 30,000 | 33,000 | 38,000 | 42,000 | 46,400 | 48,400 |
| 3号 | 週5日 | 152,000 | 170,000 | 195,000 | 215,000 | 234,000 | 244,000 |
| | 週4日 | 121,600 | 136,000 | 156,000 | 172,000 | 187,200 | 195,200 |
| | 週3日 | 91,200 | 102,000 | 117,000 | 129,000 | 140,400 | 146,400 |
| | 週2日 | 60,800 | 68,000 | 78,000 | 86,000 | 93,600 | 97,600 |
| | 週1日 | 30,400 | 34,000 | 39,000 | 43,000 | 46,800 | 48,800 |
| 4号 | 週5日 | 154,000 | 175,000 | 200,000 | 220,000 | 236,000 | 246,000 |
| | 週4日 | 123,200 | 140,000 | 160,000 | 176,000 | 188,800 | 196,800 |
| | 週3日 | 92,400 | 105,000 | 120,000 | 132,000 | 141,600 | 147,600 |
| | 週2日 | 61,600 | 70,000 | 80,000 | 88,000 | 94,400 | 98,400 |
| | 週1日 | 30,800 | 35,000 | 40,000 | 44,000 | 47,200 | 49,200 |
| 5号 | 週5日 | 156,000 | 180,000 | | | 238,000 | 248,000 |
| | 週4日 | 124,800 | 144,000 | | | 190,400 | 198,400 |
| | 週3日 | 93,600 | 108,000 | | | 142,800 | 148,800 |
| | 週2日 | 62,400 | 72,000 | | | 95,200 | 99,200 |
| | 週1日 | 31,200 | 36,000 | | | 47,600 | 49,600 |
| 6号 | 週5日 | 158,000 | | | | | 250,000 |
| | 週4日 | 126,400 | | | | | 200,000 |
| | 週3日 | 94,800 | | | | | 150,000 |
| | 週2日 | 63,200 | | | | | 100,000 |
| | 週1日 | 31,600 | | | | | 50,000 |

備考:

- ①1年間あたりの勤務日数が、①「217日以上」、②「169日から216日」、③「121日から168日」、④「73日から120日」、⑤「48日から72日」の場合は、それぞれ①「週5日」、②「週4日」、③「週3日」、④「週2日」、⑤「週1日」と読み替えるものとする。
- ② 上記の「級数」は、第3条第3項の「職能」を、「号数」は1回あたりの昇降給の基準をそれぞれ表す。

特定非営利活動促進法第54条第2項第3号に定める事項を記載した書類

| | | | |
|-----|------------------|------|--------------------------|
| 法人名 | 特定非営利活動法人 開発教育協会 | 事業年度 | 平成30年4月1日～平成31年 3月31日 |
|-----|------------------|------|--------------------------|

1 資金に関する事項 [①収益の源泉別の明細、借入金の明細その他の資金に関する事項]

※ 丸数字は、特定非営利活動促進法第54条第2項第3号に定める事項の詳細について規定している特定非営利活動

(1) 収益の源泉別の明細

| 収 益 源 泉 の 内 訳 | 金 額 |
|------------------------|--------------|
| 個人正会員会費 | 3,286,000 円 |
| 団体正会員会費 | 420,000 円 |
| 個人賛助会員会費 | 1,627,000 円 |
| 個人賛助会員会費（学生） | 118,000 円 |
| 団体賛助会員会費 | 340,000 円 |
| 受取寄附金 一般寄付金 | 659,177 円 |
| 受取寄附金 特別寄付金 | 1,000,000 円 |
| 受取寄附金 その他の寄附金（サポーター募金） | 300,070 円 |
| 受取助成金 | 7,464,127 円 |
| 事業収益 実践・研究事業 | 1,166,400 円 |
| 事業収益 研修・講座事業 | 139,500 円 |
| 事業収益 共催・協力事業 | 1,777,764 円 |
| 事業収益 情報・出版事業 | 10,188,346 円 |
| 事業収益 講師派遣事業 | 5,509,342 円 |
| 事業収益 受託事業 | 17,830,502 円 |
| その他収益 雑収入 | 128,119 円 |
| その他収益 受取利息 | 166 円 |
| 合 計 | 51,954,513 円 |

(2) 借入金の明細

| 借 入 先 | 金 額 |
|-------|-----|
| なし | 円 |
| | 円 |
| 合 計 | 円 |

(3) その他

| |
|----|
| なし |
| |
| |

2 資産の譲渡等の内容に関する事項 [②資産の譲渡等に係る事業の料金、条件その他その内容に関する事項]

(1) 資産の譲渡に係る料金及び条件等

| 譲渡資産の内容 | 料金 | 条件等 |
|-----------|----|----------|
| 図書・出版物の販売 | | ※別添資料 参照 |
| | 円 | |
| | 円 | |
| | 円 | |
| | 円 | |
| | 円 | |
| | 円 | |
| | 円 | |

(2) 資産の貸付けに係る料金及び条件等

| 貸付資産の内容 | 料金 | 条件等 |
|---------|----|-----|
| なし | 円 | |
| | 円 | |
| | 円 | |
| | 円 | |
| | 円 | |
| | 円 | |

(3) 役務の提供に係る料金及び条件等

| 役務の提供の内容 | 料金 | 条件等 |
|-----------------------------|----------------------|--|
| 講師派遣等 講師謝礼 | 10,000円 ~50,000円 | 当会規程による |
| d-lab(第36回開発教育全国研究集会)参加費 | 1,000円 ~8,000円 | 【2日参加】一般8,000円(会員6,000円、学生4,000円、高校生以下2,000円) 【1日参加】一般4,000円(会員3,000円、学生2,000円、高校生以下1,000円) |
| 『女を修理する男』 上映会+トークショー 参加費 | 500円~1,000円 | 一般1,000円 学生・DEAR会員500円 |
| 開発教育入門講座 参加費 | 0円~1,000円 | 会員無料、学生500円、一般1,000円 |
| 海外スタディ・プログラム報告会 参加費 | 0円~500円 | 会員無料、一般500円 |
| 教材作成協力 謝礼 | 30,000円 ~280,000円 | 当会規程による |

2 資産の譲渡等の内容に関する事項 ※別添資料

(1) 資産の譲渡に係る料金及び条件等

| 譲渡資産の内容 | 料金 | 条件等 |
|------------------------------------|------------------------------|----------|
| 世界と私と未来をつなぐ授業づくりガイド | 会員価格 864 円 一般価格 1,080 円 | 税込価格、送料別 |
| もっと話そう！エネルギーと原発のこと | 会員価格 1,620 円 一般価格 1,944 円 | 税込価格、送料別 |
| 開発教育実践ハンドブック 参加型学習で世界を感じる | 会員価格 1,728 円 一般価格 2,160 円 | 税込価格、送料別 |
| 水から広がる学び アクティビティ 20 | 会員価格 2,160 円 一般価格 2,700 円 | 税込価格、送料別 |
| 援助する前に考えよう | 会員価格 2,160 円 一般価格 2,592 円 | 税込価格、送料別 |
| コーヒーカップの向こう側 | 会員価格 1,620 円 一般価格 1,296 円 | 税込価格、送料別 |
| ワークショップ版世界がもし 100 人の村だったら 第 5 版 | 会員価格 1,728 円 一般価格 2,160 円 | 税込価格、送料別 |
| パーム油のはなしー「地球にやさしい」ってなんだろう？ | 会員価格 1,728 円 一般価格 2,160 円 | 税込価格、送料別 |
| 豊かさと開発 | 会員価格 1,728 円 一般価格 2,160 円 | 税込価格、送料別 |
| ソーシャルアクションハンドブック | 会員価格 1,620 円 一般価格 1,944 円 | 税込価格、送料別 |
| 写真で学ぼう！ 「地球の食卓」学習プラン 10 | 会員価格 2,484 円 一般価格 3,024 円 | 税込価格、送料別 |
| 18 歳選挙権と市民教育ハンドブック | 会員価格 1,728 円 一般価格 2,160 円 | 税込価格、送料別 |
| 開発教育基本アクティビティ集 1 世界とのつながり | 会員価格 1,080 円 一般価格 1,296 円 | 税込価格、送料別 |
| 開発教育基本アクティビティ集 2 難民 | 会員価格 1,080 円 一般価格 1,296 円 | 税込価格、送料別 |
| 地球の食卓フードマイレージ どこからくる？ 私たちの食べ物 | 会員価格 864 円 一般価格 1,080 円 | 税込価格、送料別 |
| 新・貿易ゲーム 改訂版 | 会員価格 1,620 円 一般価格 1,944 円 | 税込価格、送料別 |
| スマホから考える世界・わたし・SDGs | 会員価格 1,728 円 一般価格 2,160 円 | 税込価格、送料別 |
| 子どもとできる創造的な対立解決 実践ガイド | 会員価格 1,728 円 一般価格 2,160 円 | 税込価格、送料別 |

3 取引の内容に関する事項 [③次に掲げる取引先、取引金額その他その内容に関する事項 イ 収益の生ずる取引及び費用の生ずる取引のそれぞれについて、取引金額の最も多いものから順次その順位を付した場合におけるそれぞれ第一順位から第五順位までの取引 ロ 役員等との取引]

(1) 収益の生ずる取引の上位5者

| 氏名又は名称 | 住所又は所在地 | 取引金額 | 取引内容等 |
|--------|---------|--------------|---|
| | | 10,275,700 円 | 展示・ワークショップスペース [redacted] の運営 事業受託料 および講師派遣謝礼 |
| | | 4,640,220 円 | NGO 等提案型プログラム |
| | | 4,000,000 円 | 地球環境基金助成金 |
| | | 2,818,412 円 | [redacted] NGO 相談員 |
| | | 1,140,000 円 | キャリアアップ助成金 |

(2) 費用の生ずる取引の上位5者

| 氏名又は名称 | 住所又は所在地 | 取引金額 | 取引内容等 |
|--------|---------|-------------|------------------------|
| | | 2,694,717 円 | 社会保険料 |
| | | 1,873,638 円 | 家賃・水道光熱費・会場費 |
| | | 1,787,400 円 | ウェブページ作成費用 |
| | | 1,066,892 円 | 事業コーディネーター委託料・執筆料・交通費等 |
| | | 861,830 円 | 運送費・郵便料金等 |

(3) 役員、社員、職員若しくは寄附者又はこれらの者の親族等との取引
イ 資産の譲渡（棚卸資産を含む。）

| 取引先の氏名等 | 法人との関係 | 住所又は所在地 | 譲渡年月日 | 譲渡価格 | 譲渡資産の内容等 |
|---------|--------|---------|-------|-----------|-----------------------|
| | | | 通年 | 62,448 円 | 図書・雑誌（棚卸資産）の販売23冊 |
| | | | 通年 | 798,065 円 | 図書・雑誌（棚卸資産）の販売約 486 冊 |
| | | | | 円 | |
| | | | | 円 | |
| | | | | 円 | |
| | | | | 円 | |
| | | | | 円 | |

ロ 資産の貸付け（金銭の貸付けを含む。）

| 取引先の氏名等 | 法人との関係 | 住所又は所在地 | 貸付年月日 | 対価の額 | 譲渡資産の内容等 |
|---------|--------|---------|-------|------|----------|
| なし | | | | 円 | |
| | | | | 円 | |

ハ 役務の提供（施設の利用等を含む。）

| 取引先の氏名等 | 法人との関係 | 住所又は所在地 | 役務の提供年月日 | 対価の額 | 役務提供の内容等 |
|---------|--------|---------|----------|-----------|---------------------------------------|
| | | | 通年 | 864,168 円 | 学びあいフォーラム・機関誌制作業委託報酬 （「業務委託覚書」による） |
| | | | 通年 | 216,370 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | 通年 | 157,250 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | H31.3.27 | 82,552 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | H31.3.25 | 68,000 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | 通年 | 64,500 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | 通年 | 50,000 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | H30.8.31 | 33,411 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | 通年 | 30,000 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | 通年 | 30,000 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | H30.6.26 | 15,800 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | H30.9.3 | 11,137 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | H30.9.3 | 11,137 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | H31.3.5 | 10,000 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | | | H31.3.5 | 10,000 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |

| | | | |
|--|----------|----------|-------------------------|
| | H31.3.6 | 10,000 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | H31.3.6 | 10,000 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | H31.3.6 | 10,000 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |
| | H31.3.20 | 10,000 円 | ハンドブック作成相談謝金 |
| | H31.3.25 | 10,000 円 | ハンドブック作成相談謝金 |
| | H31.3.25 | 10,000 円 | 講師派遣報酬 （「講師派遣規程」による） |

4 寄附者に関する事項 [④寄附者（役員、役員の親族等で、当該法人に対する寄附金の額の事業年度中の合計額が20万円以上であるものに限る。）の氏名並びにその寄附金の額及び受領年月日]

| 氏名 | 寄附金額 | 受領年月日 |
|----|-----------|-----------|
| | 300,000 円 | H30.12.26 |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |
| | 円 | . . |

5 給与の総額等に関する事項 [⑤給与を得た職員の総数及び当該職員に対する給与の総額に関する事項]

| | |
|------------|---------------|
| 給与を得た職員の総数 | 左記の職員に対する給与総額 |
| 11人 | 20,222,441円 |

認定基準等チェック表 (第3表)

(初葉)

| | | |
|-----|------------------|-------|
| 法人名 | 特定非営利活動法人 開発教育協会 | チェック欄 |
|-----|------------------|-------|

- 3 運営組織及び経理に関して次に掲げる基準に適合していること
- イ 役員の数に次の者の数の占める割合がそれぞれ3分の1以下であること
- (1) 役員及びその親族等
 - (2) 特定の法人の役員又は使用人である者及びこれらの者の親族等
- ロ 各社員の表決権が平等であること
- ハ 会計について公認会計士又は監査法人の監査を受けていること、又は帳簿書類の備付け、取引の記録及び帳簿書類の保存について青色申告法人に準じて行われていること
- ニ 支出した金銭の費途が明らかでないものがある等の不適正な経理が行われていないこと

✓

イ

| 区分 | 項目 | 役員数 | 最も人数が多い「親族等」のグループの人数 | 割合 (②÷①) | 最も人数が多い「特定の法人の役員又は使用人である者及びこれらの者の親族等」のグループの人数 | 割合 (④÷①) |
|-----|----------------------|-----|----------------------|-------------|---|-------------|
| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| ③ | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 | 18人 | 0人 | 0% | 2人 | 11.1% |
| ④ | 年月日～年月日 | 人 | 人 | % | 人 | % |
| ⑤ | 年月日～年月日 | 人 | 人 | % | 人 | % |
| ⑥ | 年月日～年月日 | 人 | 人 | % | 人 | % |
| ⑦ | 年月日～年月日 | 人 | 人 | % | 人 | % |
| ⑧ | 年月日～年月日 | 人 | 人 | % | 人 | % |
| 申請時 | | 人 | 人 | % | 人 | % |

- (注1) 各欄の人数等は、第3表付表1「役員状況」から転記してください。
- (注2) ③及び⑤については、小数点以下第2位を切り捨てた数値を記載してください。

ロ

| 各社員の表決権が平等である | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | 申請時 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 上記を証する書類の名称とその内容等 | はい | はい | はい | はい | はい | はい | はい |
| | いいえ | いいえ | いいえ | いいえ | いいえ | いいえ | いいえ |

(注意事項)

- 認定基準等チェック表(第3表)は、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)の提出時においても記載及び添付する必要があります。その場合、上記ロの記載の必要はありません。
- 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)に記載した事項について、添付を省略することができます。

第3表 (次業)

| ハ | | | | | | | |
|---|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 項 目 | ㉑ | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ | ㉖ | 申請時 |
| 会計について公認会計士又は監査法人の監査を受けている | はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ | はい いいえ | はい いいえ | はい いいえ | はい いいえ | はい いいえ | はい いいえ |
| 帳簿書類の備付け、取引の記録及び帳簿書類の保存を青色申告法人に準じて行っている | <input checked="" type="checkbox"/> はい いいえ | はい いいえ | はい いいえ | はい いいえ | はい いいえ | はい いいえ | はい いいえ |

㉗ 該当する項目を○で囲み、監査証明書又は第3表付表2「帳簿組織の状況」を添付してください。

| ニ | | | | | | | |
|---------------------------------------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 項 目 | ㉑ | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ | ㉖ | 申請時 |
| 費途が明らかでない支出がある、帳簿に虚偽の記載がある等の不適正な経理の有無 | 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |

(注意事項)

認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類（役員報酬規程等提出書類）に記載した事項について、改めて記載する必要はありません。

「認定基準等チェック表」(第3表) 記載要領

| 項 目 | 記 載 要 領 | 注 意 事 項 |
|------|--|---|
| イの各欄 | 区分欄の「㉑～㉔」の各欄には、実績判定期間の各事業年度（又は各年）を記載します。 第3表付表1「役員状況」を記載して、「㉑」、「㉒」及び「㉔」の各欄に該当する人数を転記します。 | |
| ロの各欄 | 該当する一方を「○」で囲みます。 「上記を証する書類の名称とその内容等」欄には、例えば、「定款（又は会則）第〇条に『各正会員の表決権は、平等なものとする』と規定」のように記載します。 | 「上記を証する書類の名称とその内容等」欄には証する書類の内容を文言のとおりに記載します。 |
| ハの各欄 | 該当する一方を「○」で囲みます。 なお、「㉑」から「㉔」については、イに記載する各期間（「㉑」から「㉔」）を示したものです。 | ① 「会計について公認会計士又は監査法人の監査を受けている」の「はい」に「○」した場合には監査証明書を添付してください。 ② 「帳簿書類の備付け、取引の記録及び帳簿書類の保存を青色申告法人に準じて行っている」の「はい」に「○」した場合には、第3表付表2「帳簿組織の状況」を記載し添付してください。 |
| ニの各欄 | 該当する一方を「○」で囲みます。 なお、「㉑」から「㉔」については、イに記載する各期間（「㉑」から「㉔」）を示したものです。 | |

記載要領の補足

○ ニにおいて、「費途が明らかでないもの」とは、法人が費用として支出した金額のうち、その費途を確認することができないものをいい、法人が名目に関わらず支出した金銭でその費途が明らかでないものが、これに当たります。なお、意図的にその支出先を明らかたしない支出がある場合も、当然に「費途が明らかでないもの」があることになり、認定を受けることはできません。

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|----|--|---|--|--|--|--|--|--|--|---|
| 前嶋 葵 | | 理事 | | ○ | | | | | | | | 平成 30 年 5 月 26 日就任 |
| 松倉 紗野香 | | 理事 | | ○ | | | | | | | | 平成 30 年 5 月 26 日就任 |
| 三輪 敦子 | | 理事 | | ○ | | | | | | | | 平成 28 年 5 月 28 日就任 |
| 本山 明 | | 理事 | | ○ | | | | | | | | 平成 28 年 5 月 28 日就任 |
| 中村 絵乃 | | 理事 | | ○ | | | | | | | | 平成 20 年 5 月 31 日就任 |
| 筒井 哲朗 | | 理事 | | ○ | | | | | | | | 平成 22 年 5 月 29 日就任／平 成 30 年 5 月 26 日退任 |
| 三宅 隆史 | | 理事 | | ○ | | | | | | | | 平成 26 年 5 月 30 日就任／平 成 30 年 5 月 26 日退任 |
| 岩崎 裕保 | | 監事 | | ○ | | | | | | | | 平成 15 年 3 月 12 日就任 |
| 山崎 唯司 | | 監事 | | ○ | | | | | | | | 平成 18 年 5 月 27 日就任 |

(注意事項)

認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第 55 条第 1 項に基づく書類（役員報酬規程等提出書類）に記載した事項について、添付を省略することができます。

帳簿組織の状況

第3表付表2

| 法人名 | 特定非営利活動法人 開発教育協会 | | |
|----------------------|-----------------------------|-------|------|
| 伝票又は帳簿名 | 左の帳簿等の形態 | 記帳の時期 | 保存期間 |
| 総勘定元帳 | 会計ソフト (free) 使用 ルーズリーフ | 都度 | 7年 |
| 仕訳日記帳 | 会計ソフト (free) 使用 ルーズリーフ | 都度 | 7年 |
| 現金出納帳 | 表計算ソフト (excel) 使用 ルーズリーフ | 都度 | 7年 |
| 預金出納帳 | 会計ソフト (free) 使用 ルーズリーフ | 都度 | 7年 |
| 棚卸資産台帳 | 表計算ソフト (excel) 使用 ルーズリーフ | 月1回 | 7年 |
| 賃金台帳 | 人事労務ソフト (free) 使用 ルーズリーフ | 月1回 | 7年 |
| 入金伝票 出金伝票 振替伝票 | 単票 ルーズリーフ | 都度 | 7年 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

(記載要領)

- ・ 「伝票又は帳簿名」欄は、例えば「入金伝票」、「出金伝票」、「振替伝票」、「現金出納帳」、「総勘定元帳」などのように記載します。
- ・ 「左の帳簿等の形態」欄は、「単票」、「ルーズリーフ」、「装丁帳簿」などのように記載します。
- ・ 「記帳の時期」欄は、「随時」、「毎日」、「一週間ごと」のように記載します。
- ・ 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類（役員報酬規程等提出書類）に記載した内容に変更がないときは、添付を省略することができます。

認定基準等チェック表 (第4表)

(初葉)

| 法人名 | 特定非営利活動法人 開発教育協会 | | | | | | チェック欄 |
|---|--|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 4 事業活動に関して次に掲げる基準に適合していること | | | | | | | ✓ |
| イ 宗教活動又は政治活動等を行っていないこと | | | | | | | |
| ロ 役員等に対し報酬又は給与の支給に関して特別の利益を与えないこと、役員等又は役員等が支配する法人と当法人との間の資産の譲渡等に関して特別の利益を与えないこと、役員等に対し役員を選任その他当法人の財産の運用及び事業の運営に関して特別の利益を与えないこと、及び営利を目的とした事業を行う者、上記イの活動を行う者又は特定の公職の候補者若しくは公職にある者に対し寄附を行わないこと | | | | | | | |
| ハ 実績判定期間における事業費の総額のうち特定非営利活動に係る事業費の額の占める割合が80%以上であること | | | | | | | |
| ニ 実績判定期間における受入寄附金総額の70%以上を特定非営利活動の事業費に充てていること | | | | | | | |
| イ | | | | | | | |
| 項目 | ㉑ | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ | ㉖ | 申請時 |
| 宗教の教義を広め、儀式を行い、及び信者を教化育成する活動 | 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対する活動 | 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対する活動 | 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| ロ | | | | | | | |
| 項目 | ㉑ | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ | ㉖ | 申請時 |
| 役員職務の内容、職員に対する給与の支給の状況、当法人とその活動内容及び事業規模が類似する他の法人の役員に対する報酬の支給の状況等に照らして、当法人の役員に対する報酬の支給として過大と認められる報酬の支給その他役員等に対し報酬又は給与の支給に関して特別の利益の供与の有無 | 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 役員等又は役員等が支配する法人に対しその対価の額が当該資産のその譲渡の時における価額に比して著しく過少と認められる資産の譲渡その他役員等又は役員等が支配する法人と当法人の間の資産の譲渡等に関して特別の利益の供与の有無 | 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 役員等に対し役員を選任その他当法人の財産の運用及び事業の運営に関して特別の利益の供与の有無 | 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 営利を目的とした事業を行う者及びイの活動を行う者又は特定の公職の候補者若しくは公職にある者に対する寄附の有無 | 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |

(注意事項)

- 「認定基準等チェック表(第4表)」は、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)の提出時においても記載及び添付する必要があります。その場合、「認定基準等チェック表(第4表(次葉))」(ハ及びニ)の記載及び添付の必要はありません。
- 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)に記載した事項について、添付を省略することができます。

認定基準等チェック表 (第5表)

| | | |
|--|--|--|
| 法人名 | | チェック欄 |
| <p>5 次に掲げる書類について閲覧の請求があった場合には、正当な理由がある場合を除きこれをその事務所において閲覧させること</p> <p>イ 特定非営利活動促進法第28条に規定する事業報告書等、役員名簿及び定款等</p> <p>ロ 各認定基準等に適合する旨及び欠格事由に該当しない旨を説明する書類</p> <p>ハ 寄附金を充当する予定の具体的な事業の内容を記載した書類</p> <p>ニ 役員報酬又は職員給与の支給に関する規程</p> <p>ホ 収益の明細その他の資金に関する事項、資産の譲渡等に関する事項、寄附金に関する事項その他一定の事項等を記載した書類</p> <p>ヘ 助成の実績並びに海外送金等の金額及び使途並びにその予定日を記載した書類</p> | | ✓ |
| <p>次に掲げる書類について閲覧の請求があった場合には、正当な理由がある場合を除きこれをその事務所において閲覧させることに同意する。</p> <p>※閲覧に関する細則(社内規則)等がある場合には、その細則(社内規則)等を添付してください。</p> | | 同意 |
| | | <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない |
| イ | <p>① 事業報告書等(事業報告書、財産目録、貸借対照表、活動計算書、年間役員名簿、社員のうち10人以上の者の氏名及び住所又は居所を記した書面)</p> <p>② 役員名簿</p> <p>③ 定款等(定款、認証書の写し、登記事項証明書の写し)</p> | |
| ロ | 各認定基準等に適合する旨を説明する書類、欠格事由に該当しない旨を説明する書類 | |
| ハ | 寄附金を充当する予定の具体的な事業の内容を記載した書類 | |
| ニ | 前事業年度の役員報酬又は職員給与の支給に関する規程 | |
| ホ | <p>次の事項を記載した書類</p> <p>① 収益の源泉別の明細、借入金の明細その他の資金に関する事項</p> <p>② 資産の譲渡等に係る事業の料金、条件その他その内容に関する事項</p> <p>③ 次に掲げる取引に係る取引先、取引金額その他その内容に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収益の生ずる取引及び費用の生ずる取引のそれぞれについて、取引金額の多い上位5者との取引 ・ 役員、社員、職員若しくは寄附者又はこれらの者の配偶者若しくは三親等以内の親族又はこれらの者と特殊の関係のある者との取引 <p>④ 寄附者(役員、役員の配偶者若しくは三親等以内の親族又は役員と特殊の関係のある者で、当該法人に対する寄附金の額の事業年度中の合計額が20万円以上であるものに限る。)の氏名並びにその寄附金の額及び受領年月日</p> <p>⑤ 給与を得た職員の総数及び当該職員に対する給与の総額に関する事項</p> <p>⑥ 支出した寄附金の額並びにその相手先及び支出年月日</p> <p>⑦ 海外への送金又は金銭の持出しを行った場合におけるその金額及び使途並びにその実施日</p> | |
| ヘ | 助成金の支給を行った場合に事後に所轄庁に提出した書類の写し | |

(注意事項)

- ・ 認定基準等チェック表第5表は、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)の提出時に記載及び添付する必要があります。
- ・ 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、添付の必要はありません。

認定基準等チェック表 (第6、7、8表)

| | |
|-----|------------------|
| 法人名 | 特定非営利活動法人 開発教育協会 |
|-----|------------------|

認定基準等チェック表 (第6表)

| | | | | | |
|---|-------|-----|-----|-----|-----|
| 6 実績判定期間を含む各事業年度の特定非営利活動促進法第28条に規定する事業報告書等を同法第29条の規定により所轄庁に提出していること | チェック欄 | | | | |
| 特定非営利活動促進法第28条に規定する事業報告書等の所轄庁への提出の有無 | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |

認定基準等チェック表 (第7表)

| | | | | | | |
|--|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 7 法令又は法令に基づいてする行政庁の処分違反する事実、偽りその他不正の行為により何らかの利益を得、又は得ようとした事実その他公益に反する事実がないこと | チェック欄 | | | | | |
| | ✓ | | | | | |
| 法令に違反する事実、偽りその他不正の行為により何らかの利益を得、又は得ようとした事実その他公益に反する事実の有無 | | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | 申請時 |
| 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| 注・認定基準等チェック表(第7表)は、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)の提出時に記載及び添付する必要があります。 | | | | | | |

認定基準等チェック表 (第8表)

| | | | | | |
|---|----------|-------|----------|-------|----------|
| 8 申請書を提出した日を含む事業年度の初日において、その設立の日以後1年を超える期間が経過していること | チェック欄 | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>事業年度</td> <td>月 日～ 月 日</td> <td>設立年月日</td> <td>平成 年 月 日</td> </tr> </table> | | 事業年度 | 月 日～ 月 日 | 設立年月日 | 平成 年 月 日 |
| 事業年度 | 月 日～ 月 日 | 設立年月日 | 平成 年 月 日 | | |

(注意事項)

- ・ 法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)の提出時に当たっては、認定基準等チェック表(第6表及び第8表)は、記載する必要はありません。
- ・ 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、認定基準等チェック表(第6表及び第8表)の記載の必要はありません。また、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)に記載した事項について、改めて記載する必要はありません。

欠格事由チェック表

| 法人名 | 特定非営利活動法人 開発教育協会 | チェック欄 |
|--|--|-------------------------------------|
| 認定、特例認定又は認定の有効期間の更新の基準にかかわらず、次のいずれかの欠格事由に該当する法人は認定、特例認定又は認定の有効期間の更新を受けることができません。 1 役員の中に、次のいずれかに該当する者がある場合 イ 認定特定非営利活動法人が認定を取り消された場合又は特例認定特定非営利活動法人が特例認定を取り消された場合において、その取消しの原因となった事実があった日以前1年以内に当該認定特定非営利活動法人又は当該特例認定特定非営利活動法人のその業務を行う理事であった者でその取消しの日から5年を経過しないもの ロ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者 ハ 特定非営利活動促進法若しくは暴力団員不当行為防止法に違反したことにより、若しくは刑法204条等 ^(注1) 若しくは暴力行為等処罰法の罪を犯したことにより、又は国税若しくは地方税に関する法律に違反したことにより、罰金刑に処せられ、その執行が終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者 二 暴力団の構成員等 ^(注2) 2 認定又は特例認定を取り消されその取消しの日から5年を経過しない法人 3 定款又は事業計画書の内容が法令等に違反している法人 4 国税又は地方税の滞納処分の執行がされているもの又は当該滞納処分の終了の日から3年を経過しない法人（認定、特例認定及び認定の有効期間の更新の申請時には、所轄税務署長等から交付を受けた納税証明書「その4」並びに関係都道府県知事及び市区町村長から交付を受けた滞納処分に係る納税証明書の添付が必要となります）。 5 国税に係る重加算税又は地方税に係る重加算金を課された日から3年を経過しない法人 6 次のいずれかに該当する法人 イ 暴力団 ロ 暴力団又は暴力団の構成員等の統制下にある法人 | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 1 | 役員のうち、次のいずれかに該当する者の有無 イ 認定特定非営利活動法人が認定を取り消された場合又は特例認定特定非営利活動法人が特例認定を取り消された場合において、その取消しの原因となった事実があった日以前1年以内に当該認定特定非営利活動法人又は当該特例認定特定非営利活動法人のその業務を行う理事であった者でその取消しの日から5年を経過しない者の有無 ロ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者の有無 ハ 特定非営利活動促進法若しくは暴力団員による不当行為防止法に違反したことにより、若しくは刑法第204条等若しくは暴力行為等処罰法の罪を犯したことにより、又は国税若しくは地方税に関する法律に違反したことにより、罰金刑に処せられ、その執行が終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者の有無 二 暴力団の構成員等の有無 | 有・ <input type="checkbox"/> |
| 2 | 認定又は特例認定を取り消されその取消しの日から5年を経過しない法人 | はい・ <input type="checkbox"/> |
| 3 | 定款又は事業計画書の内容が法令等に違反している法人 | はい・ <input type="checkbox"/> |
| 4 | 国税又は地方税の滞納処分の執行がされているもの又は当該滞納処分の終了の日から3年を経過しない法人 添付書類 認定、特例認定又は認定の有効期間の更新の申請時に、上記4に係る所轄税務署長等から交付を受けた納税証明書「その4」並びに関係都道府県知事及び市区町村長から交付を受けた滞納処分に係る納税証明書を添付すること (注1) その他の事務所がある場合は、その他の事務所所在の滞納処分に係る納税証明書も添付すること (注2) 役員報酬規程等提出書には添付不要 | はい・ <input type="checkbox"/> |
| 5 | 国税に係る重加算税又は地方税に係る重加算金を課された日から3年を経過しない法人 | はい・ <input type="checkbox"/> |
| 6 | 次のいずれかに該当する法人 イ 暴力団 ロ 暴力団又は暴力団の構成員等の統制下にある法人 | はい・ <input type="checkbox"/> |